# 学校評議員による会議実施報告書

## 岐阜県立関高等学校

学校長　　加　藤　　昭　二
学校住所　関市桜ヶ丘２－１－１　　電話（０５７５）２２－５６８８

１　会議の名称　　岐阜県立関高等学校　学校評議員会　（第２回）

２　会議の構成　【学校評議員】
（５０音順）大竹　由佳　（医療法人勤務）
可児　　茂　（関市自然の家所長）
島田亜由美　（会社役員）
荘加　良平　（関市桜ヶ丘ふれあいまちづくり推進委員会委員長）
田村　弘司　（中部学院大学事務局長）
【学 校 側】
加藤　昭二　（校　長）　星屋　浩行　（管理監兼事務部長）
佐藤　秀樹　（教　頭）　天池　光治　（教務主任）
藤原　厚良　（生徒指導主事）　林　　直樹　（進路指導主事）

３　会議の目的　　学校運営や教育活動等の現状について、地域社会や学識経験者、保護者等に情報発信するとともに、意見や要望を幅広く聞き、それを反映できる開かれた活力ある学校づくりを推進する。

４　会議の開催　　平成２７年２月４日（水）　９：４５～１１：３０　関高等学校　校長室
委員４名と学校側６名が出席
＜会の内容（主な議題）＞
・学校長挨拶
・授業参観
・資料説明（「第１回学校評議員会のご意見に対する対応処理表」など）
・スーパーグローバルハイスクール（ＳＧＨ）の取組について
・関高等学校についてのご意見や授業参観の感想など

５　会議の概要

（１）テーマ　　スーパーグローバルハイスクール（ＳＧＨ）の取組について

県教育委員会から指定を受けたスーパーグローバルハイスクール（ＳＧＨ）の取組について、資料により報告した。

意見１　大学との連携等、生徒が活躍できる場面が設定されている。生徒が活躍できる場面を設定すると、力を発揮していく。ＳＧＨを活用し、生徒の視野を広げ、挑戦できる機会をこれからも設定していっていただきたい。
意見２　活躍している生徒の姿を出身中学の先生方にもフィードバックしていくとよい。
学校側　ＳＧＨに限らず、受け入れた生徒の様子をお伝えすることで、中高の信頼関係を高めていきたい。
意見３　来年度の新入生はＳＧＨの取組の対象となるのか。
学校側　今年度に入学した１年生を主な対象にして礼文島研修やシンガポール研修に参加するなど課題研究に取り組んでいるが、講演会やキャリア関連の行事には２、３年

生も参加している。来年度も新入生を含め、できるだけ多くの生徒に取組の成果を還元していきたい。

なお、２月１７日（火）にはＳＧＨ運営指導委員会を開催し、県教育委員会やＳＧＨアドバイザーの方々に授業と第１学年の課題研究発表会を見ていただき、指導・助言をしていただく予定である。

（２）テーマ　　授業参観の感想について

授業を参観していただき、本校がＳＧＨ事業の一環として取り組んでいる授業改善（課題の発見と解決に向けて生徒が主体的・協働的に学ぶアクティブ・ラーニングの手法を取り入れたグループ学習やＩＣＴを活用した授業、オールイングリッシュの授業など）の成果について、ご意見をいただいた。また、今年度のセンター試験で好成績をおさめたこともお伝えした。

意見１　タブレット端末を活用した授業など、先進的な取組がなされていた。

意見２　１年生から３年生の授業を見学し、学年が上がるに従って成長や学習内容の変化が見られ、計画的に指導されていた。

意見３ グループ学習では生徒の目や表情が生き生きしていた。英語の授業では、ＡＬＴだけでなく、生徒も先生もすべて英語で、先生の発音もＡＬＴと遜色なかった。自己研鑽のために授業に参加している先生もいて、先生方の学ぶ意欲にも感心した。

意見４何回か授業を見てきたが、今回は特に進化していた。大学でもアクティブ・ラーニングがキーワードとなっているが、教師が一方的に教えるだけの授業ではなく、タブレットット端末やプロジェクターなどＩＣＴを活用しながらＳＧＨの事業を上手く活用して授業改善につなげている。確実に前進しているので、自信をもって取り組んでいってもらいたい。

意見５　徒が発表しているときに先生が生徒の席に座って発表を聴き、講評するときも、座ったままであった授業が一つあり、気になった。

学校側　経験が浅く、本人が気づいてないところもあるので、指導をする場面だけでなく、発表の場面でも生徒の表情をつかむことが指導や評価に欠かせないことを指導したい。

（３）テーマ　　本校の教育活動について

前回の評議員会でいただいたご意見への対応等について資料に基づいて説明し、ご意見をいただいた。

意見１　新聞を見ると、関校の様々な部活動が入賞し、文武両道で頑張っている。「関高は地域の誇り」と思ってきたが、その感を強めている。

意見２　地域の敬老会、文化祭に関高校の吹奏楽部やコーラス部が参加して盛り上げてもらい感謝している。地域の清掃活動を紹介した「関高ニュースレター」も地域で評判である。地域の会合でも「関高はよく頑張っている。」との意見をいただいた。

意見３　横断歩道で挨拶してくれた生徒がいた。校内だけでなく、校外でも挨拶ができる生徒が増えていってもらいたい。

意見４　センター入試の時も関校生にさわやかな挨拶をしてもらえた。

学校側　前回の評議員会で挨拶の大切さについてご意見をいただき、職員から率先して挨拶をするように心がけてきた。

意見５　保護者、地域、OB、中学校、大学等、学校の応援団を増やしていかれるとよい。

意見６　関高のＭＳリーダーズ（Manners Spirit Leaders）が校内外で活躍していることがよく分かった。

（４）テーマ　　本校の教育設備環境について

外壁改修が終わり、植栽の剪定などハード面での環境整備にも取り組んできたこと、前回の評議員会でのご提案を受けて各教室、職員室等入口にある標識（標示板）に英語を併記したことなどをお伝えした。

意見１　植栽も含め、校内がきれいになっていた。
意見２　校内（教室）も校外もきれいに整備されている。
意見３　標識に英語標記を加えたことで日常的に英語に触れられる環境が整った。

（５）テーマ　　２７年度の入学定員と選抜について

来年度の入学定員が従来通り７クラス２８０名であるとお伝えし、関市全体の中学３年生卒業が昨年度より９８名も減少する関係もあって、県が発表した１月の中学３年生の進路希望調査では本校への入学志望者が入学定員より２１名少ない２５９名であることをお伝えした。

意見１　関高の定員が満たないのは国家的損失である。学力は必要であるが、少しでも多くの生徒を集められるように学校の情報を発信していただきたい。
意見２　中学生の安全志向というのも一因ではないか。ＰＴＡの協力を得るなど、ＳＧＨの取組の成果など発信力を高めていくとよい。
意見３　今年度の志望者減は、生徒数の減少が決定的な原因である。入学定員は４０人単位でしか設定できないため、定員に満たなくても入学してきた生徒を育てることが大切である。
学校側　一人でも多くの生徒に関高に入学してもらいたいし、入学した生徒の教育に全力を注ぎたい。

（６）テーマ　　その他

校内の各分掌の自己評価について資料をもとに説明しご意見をいただいた。

意見１　学校公開日の参加者が多いと、先生方にとっても励みとなる。今回の評議員会の配布いただいた資料なども保護者の方々へフィードバックできると良い
意見２　学校の活動を広報する一環として、「学校行事」「テスト・課題等」「PTA 行事」を一覧にした印刷物を作成し、年度当初に配布し、各家庭の目につくところに掲示していただくとよい。
学校側　PTA と連携し、早速新年度に間に合うように準備したい。緊急連絡メールや台風時の連絡用ホームページアドレスの QR コードも掲載するなど、安心・安全な学校体制強化にもつなげたい。

６　会議のまとめ

学習指導要領の改訂やＳＧＨの県指定を受けて、ＩＣＴの活用や生徒が協働的・主体的に学ぶ授業改善などのソフト面、施設設備のハード面では校舎外壁改修や植栽など、総じて充実した１年であった。一方で、全県的に生徒数が減少する中で美濃地区は今年度に中学を卒業する生徒数の減少が他地区に比べて大きく、入学者選抜で受者数が定員に満たない可能性がある。生徒指導で指導中の案件もあるなど良い点ばかりではないが、本日の評議員の皆様のご助言やご意見を励ましとして学校改革を推し進め、魅力ある学校づくりに取り組んでいきたい。